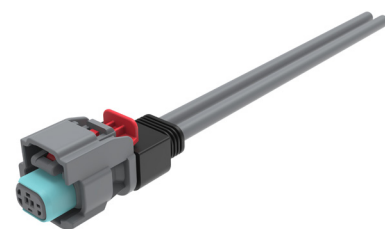


HSAutoLink E 10BASE-T1Sケーブル アセンブリーおよびコネクタ ▶

HSAutoLink Eケーブルアセンブリーは、マルチドロップまたはポイントツーポイントケーブルアセンブリーを介して複数のデバイスを接続することで、オートモーティブ配線の複雑さ、重量、コストを削減するように設計されており、10BASE-T1S～1000BASE-T1イーサネット向けに最適化された堅牢でコンパクトなイーサネットソリューションです。HSAutoLink Eシステムは、ソフトウェア定義型車両（SDV）やゾーナルアーキテクチャーをサポートする柔軟な構成など、オートモーティブグレードのパフォーマンスと信頼性を提供します。



利点と特徴

配線の複雑さを最小化

マルチドロップ（デジチェーン）通信により、単一のケーブルアセンブリーで複数のデバイスを接続できるため、コネクタ数を最小限に抑え、ハーネス設計を簡素化できます。

ゾーナルアーキテクチャーの導入をサポート

このコネクタシステムは、車体電子機器、照明、センサー、その他の分散システムなどの低速イーサネットアプリケーションを統合するゾーナルアーキテクチャー向けに最適化されています。

SDVアーキテクチャーのアップグレードを効率化

最大1Gbpsのデータレートと10BASE-T1Sイーサネット接続により、進化するSDVネットワーク戦略に対応可能となり、コネクタを再設計する必要性を回避することで開発コストを削減します。

プロトコル	10BASE-T1S、100BASE-T1、1000BASE-T1
ノード	最大8
ケーブル	28～22 AWG（JUTPまたはUTP）
トポロジー	マルチドロップイーサネット

シグナルインテグリティの維持

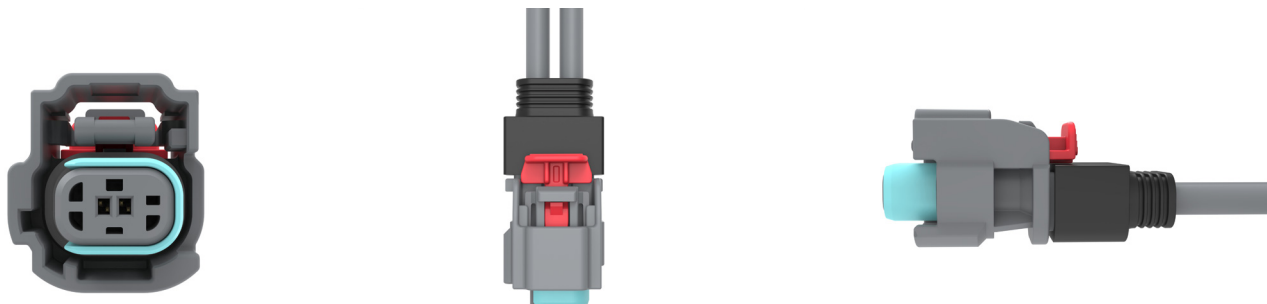
撚り戻し機能の制御により、EMIが低減し、信号強度が維持され、システムの信頼性が向上します。

ハーネスのサイズと重量を削減

コンパクトな2回路コネクタは、限られたスペースで利用できる空間を最大化し、28 AWGケーブルは、ハーネスの軽量化と車両の効率を向上させます。

調達、システム統合、メンテナンスを簡素化

コネクタ、ヘッダー、ケーブルアセンブリーのフルスイートは、堅牢なはんだ付け端子インターフェースを備え、1つのノードに障害が発生してもシステム動作を維持し、調達を効率化して、メンテナンス要件を低減します。



HSAutoLink E 10BASE-T1Sケーブル アセンブリーおよびコネクタ ▶

市場およびアプリケーション

オートモーティブ

先進運転支援システム (ADAS)
オートモーティブ小型化システム
ドアモジュール
車載ネットワーク
車内照明アクチュエータ
レーダーシステム
スピーカーシステム
超音波センサー
ゾーナルアーキテクチャー
ゾーナルコントローラー



ADAS



ドアモジュール



レーダーシステム

仕様

参考情報

梱包：テープとリール（ヘッダー）
設計仕様：ミリメートル
RoHS：はい
ハロゲン：低ハロゲン
プロトコル規格：10BASE-T1Sイーサネット

電氣的仕様

システムデータレート：最大1Gbps
電圧（最大）：36V
電流（最大）：1.5A
接触抵抗（最大）：20ミリオーム

機械的仕様

回路：2
ワイヤーサイズ：28 AWG
ノード：ケーブルアセンブリーあたり最大8個
嵌合力（最大）：25N
耐久性：25回の嵌合/嵌合解除サイクル

物理的仕様/材質

ハウジング：高温プラスチック
接点：高性能銅合金
接点部のメッキ：金
動作温度：-40～+105°C